

120803 ヒグラシ

薄暗いヒノキの林を通る林道で...

羽化したての「ヒグラシ」を見つけました！！
このようなヒグラシを見るのは初めてのことです。

昼なお暗い人工林の森の中、ヒノキの幹にポウッと浮かび上がるかのような白い羽...
何とも幻想的な光景でした...

ヒグラシは、「ニイニイゼミ」より大きく、「アブラゼミ」よりは小さい、ちょうど「ツクツクボウシ」くらいの大きさですが、体格は比較的たくましい感じです。

晩夏の夕暮れに「カナカナカナ...」と物悲しくなくことから、俳句でも「秋」の季語になっている生きものです。

でも実際は、6月末頃から羽化し始め、最盛期は7月頃とまさに盛夏の生きものだと言えるでしょう。

写真 ~ : ヒグラシ

ヒノキの幹で羽化したところの個体です。

写真 : ヒグラシの抜け殻

写真 : ヒグラシの成熟個体

葉の上で休息中です。

セミの中でもこの種は、比較的 と の見分けが容易で、この写真のように腹部が長いのが です。

はこの長い腹を共鳴させることにより、大きな音を発生させることができます。









